

※ 会派および選挙区名は、平成19年第1回定例会現在のものです。

## 代表質問

### 地域格差、業種格差 特に中山間地の問題について

地域資源も生かした取り組みを

辻本 正議員  
(新政みえ/旧度会郡選出)

**問** 平成19年度から始まる新しい農政では、麦や大豆の交付金について、対象を一定の要件を満たす農家に限定する「品目横断的経営安定対策」に変更されます。制度の対象から外れる農家は交付金がなくなり、手取りが激減することになります。

このような中、中山間地域は、過疎化や高齢化などが著しく進み、地域を維持できない状況が懸念されています。新しい農政によって、中山間地域の農業を疲弊させないためには、農業生産以外で収入を確保することが必要で、活性化に向けて、地域資源を生かし、観光と連携させた取り組みも重要と考えます。

そこで、中山間地域の活性化について、新しい農政への対応や地域資源を生かした取り組みの促進など、どのように推進していくのか、お聞かせください。

**答** これまで中山間地域では、農業生産の維持などや生活の快適性を高めるため、各種事業を展開してきました。

この取り組みを引き続き進めるとともに、「農地・水・環境保全向上対策」などの新しい制度を活用し、市町などとの

連携のもと、中山間地域のコミュニティ機能の再生を図り、経営安定対策の中山間地域の特例要件を活用するなどして、担い手や集落営農組織が意欲をもって農業を展開できるよう取り組んでいきます。また、集客交流や加工、特産作物の産地化など、地域特性を生かした多様な取り組みを促し、活性化を図ります。



その他の質問事項  
○ 知事の次期選挙についての決意

ほか

### 今後の三重県と道州制について

三重県らしさが発揮できる道州制を

橋川 稔也議員  
(自民・無所属・公明議員団/旧度会郡選出)

**問** 国は、3年くらいで道州制のビジョンをつくると言っています。

第28次地方制度調査会の答申では、東海3県は同じ州に区割りされており、愛知県に合併されるのに近い形になると思われま

す。国で策定中の国土形成計画でも、中部近畿それぞれが、名古屋・大阪など大都市を牽引役として、それぞれが一つのブロックとして自立性を高めていく方向となっております。以前、私が質問で「中部・

近畿両圏域の狭間に沈んでしまう危険もある」と指摘したことが、現実のものになるうとしています。

このような道州制では、県北は名古屋の衛星都市に、県南は辺縁部となり、三重県らしい特色を発揮できないおそれがあります。こうした動きに対しどう取り組むのか、所見を伺います。



**答** 地方分権改革が不十分のまま道州制に移行しては、単なる都道府

県合併、実質的な国の機関になるなど、住民にとって期待の持てないものとなるため、まずは、地方税財源の充実、法令による義務付けなどの緩和に取り組み、その後、道州制の議論に移行すべきと考えます。

政府の動きが本格化している中、三重県民の立場から見たメリット・デメリットの十分な検討が必要と考えます。

また、国土形成計画の広域ブロック化の動きに対しては、ブロック相互の交流・連携により地域の特性を生かして発展できると考え、国へ提案を行いました。

その他の質問事項  
○ 野呂県政四年間を振り返って

ほか

### 「ゼロメートル地帯等における緊急津波・高潮対策」について

地域住民の安全・安心を

三谷 哲央議員  
(新政みえ/旧桑名郡選出)

**問** 東海・東南海・南海地震は、30年以内に起こると言われ、いつ起きるか分からない地震の恐怖に直面しています。

国が実施した海岸堤防に関する調査では、老朽化度や耐震性の評価が三大湾の中で伊勢湾が最も悪く、「ゼロメートル地帯」での被害が大きいとされています。なかでも、長島地区海岸堤防は、老朽化が著しく、地盤軟弱地帯であり、危険な状態と考えます。県も、この堤防の耐震調査をしました。その結果はどうか、どのような対策を講じるのか、また、近隣の城南地区海岸は、今後、調査する予定があるのか、伺います。

**答** 県では、県内の海岸堤防の簡易耐震点検を実施し、その結果、長島地区海岸を耐震点検が必要な箇所の一つとして、堤防の詳細な調査を実施してきました。

国では、三大湾のゼロメートル地帯において、大規模浸水被害を軽減する対策を進めることとしており、県として、当地区の事業着手と早期の完成を目指し、国に対して事業採択を要望しています。

また、城南地区海岸についても、平成19年度に調査を行う予定で、その結果をふまえ、対策を検討したいと考えています。

その他の質問事項

○ 知事選に臨むに当たっての「基本的考え方」と「マニフェスト」について

ほか

## 一般質問